

2021年8～10月号 カサ・デ・アミーゴス会報

事務所：〒411-0018 三島市初音台 4-7(代表自宅)

代表 高原 静子(携帯 090-4083-3281) TEL&FAX:055-972-1793

URL: <http://camigos.web.fc2.com/>

<https://www.facebook.com/casadeamigos1990>

E-mail: c.amigos2012@gmail.com 郵便振替: 00890-2-2473

倉庫: 〒411-0803 三島市大場 952-9

食をとoshた、「外国人と共に取組む支援活動」、 「子どもの自立スキル獲得の支援活動」

コロナ感染は2年目に入っても終息状況は見通せず、国内および世界の人々の生活、事業活動、労働、教育、医療などなどは、引き続き大きな影響を受けています。

アミーゴスへの相談や支援要請は、昨年から途絶えることなく、日常的にあります。このような中で、昨年は食料集めと配付回数を増やすことを重点に取り組むため、「赤い羽根・新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン『フードバンク活動等応援・第1回 助成(91万円)』」により、2020年度前期の食料支援活動をまた、後期活動は皆さんから寄せられた寄付金で、2019度の二倍を超える食料調達、配付を行うことができました。2021年度に入り、引き続きコロナ感染対策のもと生活防衛、支援が求められていることから、アミーゴスでは、重点課題の食料支援活動に加え、赤い羽根の①「with コロナ 草の根応援・第3回(助成10万円)～これからの活動・組織づくりのために～」と②「フードバンク活動等応援・第3回助成(25万円)」も助成金の補充により、活動をしています。これら二つの活動の報告をします。

1. 外国人が自分たちの力で活動をしていくための取組みにおいて

赤い羽根・第3回草の根応援助成：with コロナの社会における活動を活性化する事業

アミーゴスは、外国につながる人々との共生や支援を活動の柱としており、外国人と共に活動していますが、まだまだ活動の担い手は日本人で、外国人との共生や協働の姿にはなっていません。食料支援活動においても、外国人がどのようにしたら活動の担い手となれるかという課題を解決していくために、今年度は食料支援の一連の活動内容について、できる限り、外国人と一緒に行動することを計画し、外国人会員などに役割を分担してもらいました。

食料調達、運搬、入庫作業、配付会の準備、外国人への連絡、当日の食品仕分け、外国語による食品の説明やレシピ作成などを一緒に行いました。参加した外国人は、日本語の理解、わからないこと、知らないことなど、活動体験は大変でもあったようですが、楽しかったこともあったようです。そして、なにより、同じ言葉話す仲間からの評価は大変良く、仲間の活動に対して、感謝やお礼の言葉が寄せられました。

見ている人から、手伝う人へ、そして、役を担う人に、活動する人に、多くの外国人が参加、活動できるようになっていったらと願います。

ルイサさん、イサベルさん、ジョマールさん、ダリオさん、ナンシーさん、サッチャン、お疲れさまでした。また、すでにフィリピンコミュニティで支援活動のマネジメントをされているリタさん、掛川地区グループの金城さん、伊藤さん、柴田さん、御殿場地区のアメリコさん、引き続きよろしくお祈いします。

なお、9月中の取組としては、生活困窮にある仮放免などの外国人18世帯(県内、県外)へ、食品の宅配とコロナワクチン接種の情報提供を行う予定です。

ダリオさん報告

Casa de Amigos Mishima

Informe de actividad del Sr. Dario

Soy Darío. El día 13 de mayo, fuimos a recoger alimentos al almacén Second Harvest, de Saitama.

Fui muy contento porque participaba en esta actividad, con otros de los miembros; porque también era la primera vez que conducía un camión, en Japón.

Es muy gratificante sentir que puedes hacer algo por otras personas.

Al llegar al almacén, pude ver que no era tan grande como lo había imaginado, pero igual, recibimos muchos alimentos.

De regreso, aunque cansado, sentí mucha emoción de haber concluido un día muy bueno, y agradecido por la oportunidad de participar en esta actividad.

ダリオです。5月13日、セカンド・ハーヴェスト・ジャパンの埼玉八潮倉庫に行きました。アミーゴスのメンバーと共に活動に参加したり、また、初めて日本でトラックを運転したり、とてもうれしかったです。人のために活動できることを幸せに感じます。この活動のすべてが、気持ちよく感じられます。着いてみると倉庫は思ったより小さい場所でした。けれども、物資をたくさんいただきました。帰る時には疲れていましたが、とても感動していました。いい一日を過ごせたこと、この活動に参加する機会を持てたことにとっても感謝しています。



2. 子どもたちが食べ物をとおして自立のスキルを獲得していくための生活支援事業

赤い羽根・フードバンク活動等 応援 第3回 助成事業

コロナ感染拡大は、老若男女すべての人たちの暮らしに影響を与えています。

子どもたちの学校では、長期休業、対面学習からオンライン学習、行事や大会の中止な

ど、学びの場、機会が変化を余儀なくされています。

また、家では親の仕事が無くなる、給料が減る、お金がないなどにより、衣食住を節約、切りつめる、学校に払うお金が困るなど生活困難、困窮な家庭がみられます。そして親自身が心身のバランスをくずしたり、家族の生活や食事のリズム、親子団欒の雰囲気が崩れるなど、親も、子ども、それぞれに心配や悩みを抱えています。

低所得世帯や親が仕事を掛け持ちしたり、病弱などにより、子どものことに手をかえられないなどの家では、食事内容を切り詰める、残りものの食材で済ます、食事回数を減らすなどして、余裕のない食事状態となっています。アミーゴスでは、これらの家族にも食料支援を行っていますが、これらの家族のうち、子どものことに十分な手をかけられない事情などにある家庭については、子ども自身が、自立のためのスキルを自ら獲得する、身に着けていけるようにすることが、必要であると考えています。このため、学習支援に参加している子どもたちなどを対象に、家庭状況に応じて、子どもたちが食べ物をとおして自立のスキルを獲得していくための生活支援の試行に取り組むこととしました。現在、子どもと一緒に、メニューを考え、調理をしていますが、子どもが調理した料理を家に持ち帰り、家族と一緒に食事をするすることで、料理がおいしい、楽しいとか、家族に明るい変化が出てきています。子どもは自分で料理ができることの自信を持つことができることや自分がつくった料理によって家族が楽しくなる、笑顔になるなど、家族関係の形成に大切なものを学んでいると思われます。食べることは一生の営みです。食生活の自立に係るスキルの獲得は、大人となつての自立、家族の営みや子どもを育てていくうえで、欠かせないものとなります。

学習支援に参加する他の子どもたちも、この取り組みに関心をしめしており、子どもたちのリクエストをききながら、食をとおした生活自立の支援活動を進めたいと思います。



暖かいお心のこもったご寄付等有難うございました。

<会費及び現金・物品等の寄付>

6.26	女子パウロ会様	蛭名様外	物品	8.12	匿名様	寄付
7.19	成島貞子様	会費及び寄付		8.30	篤志家様	寄付
7.20	イゼナ啓子様	会費及び寄付		8.30	裾野アートハウス様	寄付
7.20	志賀賢子様	寄付		8.30	浅川隆子様	寄付
7.28	鈴木 透様	会費		8.30	寺田富美子様	寄付
8.12	山崎民佳子様	会費及び寄付				

予定とお知らせ

アミーゴス例会開催日について（毎月第3木曜日となりました。）

10月の例会 10月21日（木）午後7時から、カトリック三島教会

11月の例会 11月18日（木）午後7時から、カトリック三島教会

*例会は第3木曜日となります。12月までの開催予定日は10/21、11/18、12/16です。

八潮行き食品調達の予定（行ける人を募集中）

セカンド・ハーベスト・ジャパン八潮倉庫行きの日程

10/14(木)、11/11(木)、12/9(木)

外国人も日本人も、八潮、小田原などのフードバンクへ行きたい人、行ける人

また、食料支援活動に参加したい人は、アミーゴスへご連絡ください。

<活動報告>

<2021年9月1日、ペルー系N氏の団体交渉>

Nさんは富士宮のT機工に契約社員として勤めていたが、昨年8月工場内の通路に置かれていたキャスターに足を取られて転倒し労災事故となった。労災治療で骨折した右腕肘の骨に鉄片を埋め込む手術をした。昨年12月職場復帰し、今年3月には労災治療も打ち切られた。しかし、腕が痛くて、労災病院にも会社にも訴えたが聞き入れてもらえず、近くの病院で診てもらったところ、埋め込んだ鉄片のネジが外れていた。労災治療を復活させユニオンに加入し、会社の責任を問う団体交渉の申し入れを行い、9月1日、団体交渉が実施された。ユニオン側は当初は会社側は全面的に会社の非を認めると思っていたが、会社側は安全義務違反など全く認めず、本人が勝手に転んで起こした事故、損害賠償には応じないという頑なな姿勢で終わった。Nさんは入院手術が必要で、こうなればこちら側も弁護士を立てて徹底的に争う必要が出てきた。ちなみに会社側の弁護士は弁護士法人ALG&Associates 名古屋法律事務所所属、井本敬善弁護士である。

<ベトナム人技能実習生支援>

Lさんは、磐田市の受け入れ団体東海経営情報共同組合（以下東海共同組合）から、吉田町のレック株式会社で働いていた。3年間の実習期間が7月に終了し、コロナ禍で帰国もままならず、別の受け入れ団体に移籍して、日本に残留し、特定活動ビザを申請したいと東海共同組合に申し出た。ところが東海共同組合は移籍に必要な書類を本人に発給せず、すぐに帰国することを求めた。その後、本人は東海共同組合から離れ、現在、友達のいる伊豆の国市のアパートに同居している。

この事情はネットを通して、広島福山ユニオンに相談したところ全国一般経由で、三島ふれあいユニオンに支援要請が届いた。東海経共同組合に団交申し入れを行ったが、雇用関係がないと拒否された。名古屋の実習機構と入管に実情報告をし、東海共同組合への指導を要請している。尚、8/3、浜松入管事務所にビザ変更申請をしているが、まだ結果は出ていない。収入の道が途絶え、所持金も底をつき、移住連への支援金申請を検討中。

<8/23 イサベラさん八潮行き2回目>



8月23日：セカンドハーベストジャパン倉庫（2 hJ）八潮でのフードレセプションのレポート。

従来借りていたトラックの故障のため、レンタカーの（キャラバン）に乗り込みました。

当日、八潮行きに参加した3人は高原さん、イサベルさん、水野さんでした。今回は八潮の倉庫をサポートするのはイサベルさんにとって2回目でした。

大場倉庫を10:30に出発し、海老名SAで昼食をとり、14:00に八潮倉庫に到着しました。

受付では、コロナ対策、温度管理、消毒・マスクの使用点検後、荷降ろし・荷積み作業を開始しました。

18品（常温品11品、冷蔵・冷凍品6品、生鮮野菜1品）を

頂きました。ワゴン車の荷台がいっぱいになりました。

タブレットに食品の名前をダウンロード、荷積みするのに1時間かかります。個人的には、コロナを防ぐために倉庫内の交代時間を短縮するように指示されましたが、どうしても1時間かかりました。

ツアーでは、海老名SAで少し休憩し、午後6時10分に大場倉庫に到着しました。大場倉庫ではメンバーの覚本さん、堀さん、菊池さん、平野さん等が荷下ろし応援に参加しました。災害クラッカーやトンガリコーンのような箱は大きすぎて倉庫に入れるのに苦労しました。19時15分に作業を終了しました。参加してくれたすべての人に感謝します。朝から晩まで一生懸命働いてくれたイサベラに感謝します。

カサ・デ・アミーゴスは現在、コロナウイルスの影響で困った人達を支援するための、赤い羽助成金とともに、外国人籍の人達も支援プロジェクトに参加できるように取り組んでいます。食品運搬にルイサさん、ダリオさん、イサベラさん達は食品輸送活動に参加しています。

また、9月に一時的にリリースされるペルソナとして、困っている家族にフードギフトボックスを送る予定です。外国人で八潮に来ていただける方、梱包・発送にご参加いただければ大歓迎です。

<新たに食品運搬用2トン箱型トラックの借入することができました>

特定営利活動法人にじのかけ橋 就労継続支援B型事業所ミストラル所有

アミーゴスと親密な関係にあるNPO「にじのかけ橋」（社長：鈴木俊昭氏）が、アミーゴスの活動を支援するための食料の輸送に使用できるトラックを貸してくれます。

今まで私達はレンタカーを借りて賃貸料を支払って八潮までの長距離を運搬しなければなりませんでした。トラックは三菱ふそうキャンター（3人乗り2トン）の小型トラックです。

「鈴木俊昭さん、NPO「にじのかけ橋」さん、ありがとうございました。」

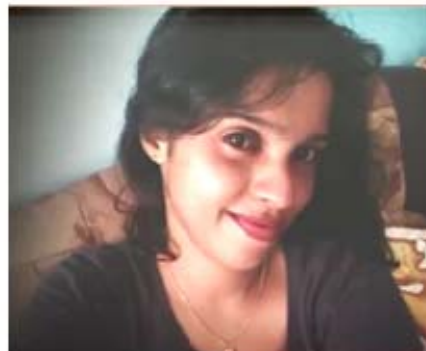


スリランカ女性死亡 明らかになった入管のずさんな対応

今年3月、入管施設で死亡したスリランカ人の女性。その死亡の経緯などをまとめた入管の報告書が8月10日、公表されました。明らかになったのは、死に至った女性の苦しい訴えに真摯に対応せず、時に“からかう”こともあった入管のずさんな対応でした。ウィシュマ・サンダマリさんの死についての2つのニュース。

<https://www.youtube.com/watch?v=ReNXx9oU9Qc>

<https://noticias.jp/inmigracion-presenta-informe-sobre-la-muerte-de-extranjera-en-centro-de-detencion/?fbclid=IwAR28wW66xVX XQH-dEzFetzmwX9hnIPW3anlgFeZSdE7EYXzdmxrj RwhylzA>



私たちは真実を知らなければなりません。Casa・de・amigos は彼女が三島に滞在していることを知らずに何もできなかったことを深くお詫び申し上げます。

あしたか太陽の丘からお礼状



令和3年9月

カサ・デ・アミーゴス
代表 高原 静子様

社会福祉法人あしたか太陽の丘
地域サポート課グループホーム
施設長 片山 昌俊

ご寄贈のお礼

社会福祉法人あしたか太陽の丘の運営につきましては、日頃格別のご理解ご高配をいただき謹んで感謝申し上げます。

さて、このたびは、ご寄贈を賜り誠にありがとうございます。

いただきました品は、各GH利用者の方々に配布させていただきます、ご厚意に報いたいと存じます。

まずは書面をもらってお礼とさせていただきます。ありがとうございました。

<編集後記>

9月中旬に入り、首都圏を中心にコロナ感染者が急速に減少しています。8月から9月上旬は、東京では毎日数千人規模の感染者が出ていたましたが、9月中旬以降は千人を下回る日も出ています。政府は頑強に否定していますが、どう見ても無謀なオリンピック強硬開催が第5波の感染拡大につながったとしか考えられません。今はただ、ひたすらにコロナはこのまま収束し、安らかな日常が訪れることを祈るばかりです。